

水稻V溝乾田直播栽培の生育状況（6月20日現在）

■ 耕種概要等

- ① 品 種 はれわたり
- ② 圃場造成 秋季耕起、代かき
- ③ 種子処理 種子消毒後に浸種、キヒゲン R2 フロアブル塗抹
- ④ 播種機 V溝播種機
- ⑤ 播種日 4月24日
- ⑥ 播種量 乾粃 10kg/10a 程度
- ⑦ 施肥量 窒素成分 10kg/10a 程度（LP100）
- ⑧ 雑草防除 4月23日ラウンドアップマックスロード
（畦畔際の雑草発生量が多かった部分のみ）
5月12日ノミニー液剤
5月31日プライオリティジャンボ

■ 生育状況

6月20日現在、イネの草丈は43cm程度で、 m^2 当たり茎数は610本程度です。生育は順調で、十分な茎数が確保できているため、10cm程度の深水管理をしています。



圃場全景



生育状況

■ 栽培管理のポイント

- ・ 茎数を十分確保した圃場では、雑草と無効分げつの発生を抑制するために10cm程度で深水管理することを推奨します。
- ・ また、地固めのための中干しは不要ですので、用水が止まる圃場では7月以降は天水を溜めるようにします。
- ・ 一発除草剤による雑草の取りこぼしが多い場合は、中・後期除草剤での防除が必要ですが、残草している草種によって選択する除草剤が異なります。除草剤の使用 방법에不安があるときは、農林総合研究所にお問い合わせください。

※農薬を使用するときは、必ず最新の農薬登録情報を入手して、直播栽培に登録があることを確認してください。

⑥ 7月以降、用水の通水終わりまでは深水管理



深水管理の痕跡

深水管理した稲は地際が黒くなっています。
この栽培では、深水管理しても十分な穂数を確保できます。

- 7月になったら幼穂形成期頃まで10cm前後の深水にします。
- 中干しはしません。
中干し時期に用水の通水が止まる圃場では、通水が止まる前にできるだけ水を溜めておきます。

※水稻V溝乾田直播栽培マニュアルから引用